

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38791	
事業名	観光マネジメント強化費						
評価担当課	所 属	経)観光・MI 観光・MICE			電話番号	011-211-2376	
施策名	札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	現在の推進体制は、地域一体かつ戦略的な観光振興に課題があることや、市職員が中心となり、事業の企画運営等を行っているため、専門人材の確保・育成やノウハウの蓄積等の課題があり、DMOの設立も含めた推進体制の強化が必要。また、2023年5月に「次期札幌市観光まちづくりプラン検討委員会」から、推進体制の強化に当たっては、「DMOの設立が必要」との提言があった。また、宿泊税については、北海道や道内他市町村が導入に向けた検討を再開することを表明している。					
	事業内容(何を実施し)	札幌DMOの設立に向け、観光関連団体・事業者・先進DMOへの各種調査、札幌DMOのコンセプト(存在意義、実現したいこと、行政との関係性、他組織との関係性)や組織体制、人材、財源の考え方などをまとめた「札幌DMOの概要・方向性(案)」を検討。また、第2次札幌市観光まちづくりプランの冊子を製作した。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	札幌の経済成長をけん引する観光産業の持続的な発展に向けて、観光振興施策を計画的・戦略的に推進するため、次期観光まちづくりプランの策定や、札幌DMO設立に向けた検討、宿泊税導入に向けた検討を実施し、観光マネジメント機能の強化を図りたい					
	他都市の状況	各自治体において観光振興計画を策定している。 推進体制の強化について、札幌市と同規模の政令指定都市における先進事例としては、京都市、横浜市がDMOとして先進的な取組を進めている。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外					
	令和4年度決算額	15,125 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人工	
令和5年度予算額	14,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.6 人工		
令和5年度決算額	10,599 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.6 人工		
令和6年度予算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2.1 人工		
指標	アウトプット活動指標1	次期札幌市観光まちづくりプランの策定			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		検討	策定	策定			
	↓						
	アウトカム成果指標1	DMO設立に向けた検討			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		検討	検討	検討	検討	検討完了	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	計画のとおり進捗している。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
指標2の評価、未達理由、今後の考え方	計画のとおり進捗している。						
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	令和5年度に策定した「第2次札幌市観光まちづくりプラン」に基づき各種の観光振興施策を実施するとともに、持続的に札幌の観光を発展させていくための推進体制の整備や財源の確保に向けた具体的な検討を進めていく。						